

八峰コミスク通信

地域と学校の連携・協働
地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介しします

四年生の人権教室 (十一月十六・十七日)

峰浜小学校と八森小学校で、人権擁護委員の皆さんによる、四年生の人権教室が開かれました。

峰浜小学校

能代山本地区の人権擁護委員の八名が来校し、藤里地区の石岡さんが講師を務めてくださいました。グループに分かれて、「うれしくなる言葉や行動」「暗い気持ちになる言葉や行動」を書き出しながら、普段の生活を振り返っていました。授業の最後には、「SOSミニレター」や「子ども人権110番」の紹介をしながら、いじめにあった場合、勇気をもって相談することや、相手のことを考え、思いやりをもって生活してほしいと、お話がありました。



令和4年度
第15号
R4/12/5
CSレター
三浦

八森小学校

十名の人権擁護委員の皆さんが参加し、八峰町の金谷さんが授業を進めてくださいました。

「ずっとともだちでいたいから」という紙芝居を、委員の方々が役割分担して演じてくださいました。生活の中で「暗い・かなしい気持ち」「明るい・うれしい気持ち」

になった場面を考え、みんなが仲良く幸せに生活するにはどうしたらよいか考えました。授業後には、「思いやりや勇気が必要。」「友達にいやなことを言わない。言ってしまったら、素直に謝る。」「仲良くするためにどうすればよいかを考えることができた。」などの発表がありました。



二年生介護ロボット見学操作学習会 (十一月十八日)

秋田県健康福祉部長 寿社会課の主催で開かれました。

介護の仕事について紹介ビデオを見た後、四つの会社のブースに分かれて、介護ロボットの説明を聞いたり、体験



したりしました。

高齢化社会の今、介護職は必要不可欠な仕事ですが、最新の機器やロボットに触れ、体験してみることが通して、介護の仕事に興味をもつことができました。生徒からは、「介護ロボットは思いやりでできていて、やさしさの工夫が込められていると思った。」「介護の仕事は難しいと思ったが、動画を見て興味が高まった。」「ロボットが増え、進化すると高齢者の生活が楽になると思う。」などの感想がありました。

峰浜小学校

六年生そば打ち体験 (十一月二十一日)

J A秋田やまもと の食農教室で、そば打ち体験をしました。今年石川のそば粉を使用しており、六年生が刈り取りしたそばが入っているかもしれません。

グランママのお手本を見学してから、グループでそば打ちに挑戦しました。そば粉を水でこねるところからそば切りまで、悪戦苦闘するグループもありましたが、全グループがそば切りまで自分たちでできました。最後は、手作り感満載のそばを、みんなで美味しくいただきました。

